交通まちづくり

世界の都市と日本の都市に学ぶ

交通まちづくり研究会 編集
（一社）交通工学研究会 発行
丸善出版（株） 発売所
平成 18 年 7 月発行 A5・213 頁
本体価格 2,300 円+税 会員価格 2,000 円+税
ISBN 978-4-905990-59-8



本書は、「交通まちづくり」の基本を理解するための入門書であり、「交通まちづくり」の悩みに応える事例集です。三年間の自主研究の成果を基に、図や写真を数多く取り入れて、編集しました。

交通まちづくりの考え方、進め方、そして、情報ギャップを埋めるための工夫や、現状を理解し、施策効果を捉えるための測定手法を解説するとともに、交通まちづくりの先進七都市と交通まちづくりの主役たちの活躍を紹介しています。

地方分権社会における都市間競争を勝ち抜くために、まちづくりのビジョンとそれを支える交通システムの構築は、避けて通ることの出来ない重要課題です。「交通まちづくり」を通して、それぞれの町にふさわしい交通システムが構築され、都心部の衰退、社会的排除の緩和、ローカルガバナンスの構築といったまちづくりの重要課題に対して、交通計画が具体的に貢献できると期待しています。

あなたも、本書を手に「交通まちづくり」に参加してみませんか。 交通まちづくり研究会・主査 原田 昇

○まちづくり３法改正の今だから読む
○都市を美治す（みなおす）交通まちづくり

- 交通まちづくり、それは都心交通計画
- 自転車が一番使いやすい都市（まち）になる
- ビジョン無くして交通まちづくりは無し
- 日本のコンパクトシティ 坂の上の雲のまちづくり
- 交通まちづくりを阻害する情報ギャップ
- “地域知・専門知・実務知”の３本の矢
- この都心, このバス, この電車はどうしてお客が増えているのか
- 大気汚染ワースト都市が奇跡の復活 最も住みたい都市に

目 次

第 1 章 「交通まちづくり」の基礎知識
1.1. 交通まちづくりとは
1.2. 交通まちづくりの特徴
1.3. 交通まちづくりへの期待

第 2 章 成功する交通まちづくり
2.1. 交通まちづくりの問題整理
2.2. 交通まちづくりのポイント
2.3. プレイヤーの見直しと協同作業としての交通まちづくり
2.4. 求められる交通まちづくりの理論的手法

第 3 章 交通まちづくりのはじめ方
～情報ギャップの解消から始めよう～
3.1. まちのルールを変える
3.2. 情報ギャップを埋める 10 のポイント
ポイント 1： プロセス設計が大切
ポイント 2： 調査・活動の予算確保をしっかりと
ポイント 3： 交通問題をきっちり分析，みんなで共有
ポイント 4： 多様な視点で，影響，効果を示すことが市民や関係者の納得につながる
ポイント 5： 代替案の比較検討が大切
ポイント 6： まちが目指す将来ビジョンを明示することが重要
ポイント 7： 将来ビジョン作成段階から市民参加も有効
ポイント 8： 有機的な施策展開プログラム
ポイント 9： 社会実験の活用
ポイント 10：ＰＤＣＡサイクルが大切
コラム 大規模ワークショップの実際：札幌市

第 4 章 交通まちづくりを測る（知る）
4.1. 何故交通まちづくりを測る（知る）必要があるのか？
4.2. 街を測る方法
4.3. 街を測ると何が分かる
コラム 日本にはこんなにクルマを気にせず安心して歩行できる空間がある
4.4. 交通まちづくりへの適用事例

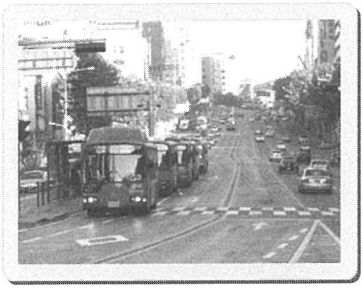
第 5 章 交通まちづくりのモデル都市に学ぶ
5.1. 札幌市：対話型交通まちづくり
5.2. 金沢市：人と環境にやさしい交通まちづくり
5.3. 松山市：コンパクトシティの実現に向けた交通まちづくり
5.4. 伊豆地域：情報提供を実施した観光交通まちづくり
5.5. フライブルク：中心市街地をとことん活かす交通まちづくり
5.6. クライストチャーチ：PDCA 定着でオンリーワン目指す交通まちづくり
5.7. チャタヌーガ：都市再生の奇跡と交通まちづくり
コラム 持続可能な都市交通への新たな方向性 ソウル市の取り組み

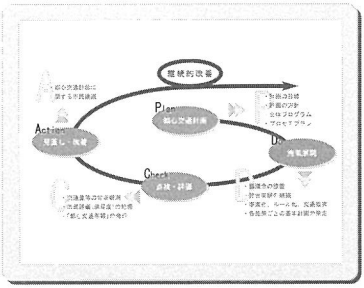
第 6 章 交通まちづくりの主役達
6.1. 事業者への期待－公共交通を活かしたまちづくり－
6.2. 市民団体の取り組み－「ＬＲＴさっぽろ」
6.3. 市民共同方式による醍醐コミュニティバス
6.4. 社会実験を活用した国際通りのトランジットモール化への挑戦
6.5. 道路文化創造社会実験「ＴＥＮＪＩＮ ＰＩＣＮＩＣ」
6.6. 学生の豊な発想で日本橋再生へ

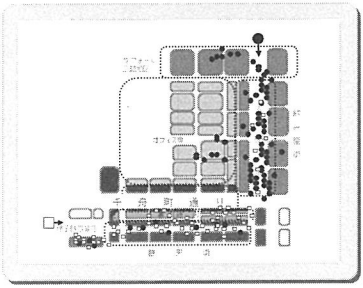
会員の方は当会ホームページよりお申し込み願います。 http://www.jste.or.jp/
一般の方は丸善もしくは最寄りの書店でお買い求め頂けます。丸善出版 03-3512-3256

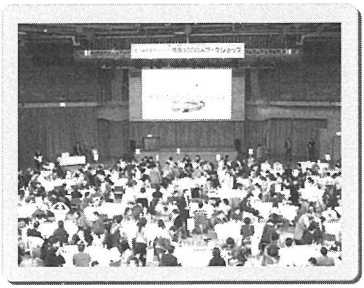
交通まちづくり

世界の都市と日本の都市に学ぶ









はじめに

市民意識調査ではトップにランクインする「交通問題」が，長年にわたり解決されない現状は，交通問題解決へのアプローチを刷新する必然性を示唆しています．最も頻繁に繰り返されるのは，交通計画の目標を交通問題指標の緩和のみに限定するため，本来目指すべき「まちづくり」への貢献，市民活動や経済活動への貢献が不明瞭になるという状況です．

すでに，都市マスタープランや地区計画では，市民や企業を巻き込んだ，市民・企業・行政の協働による新しい計画概念とプロセスが展開しています．都心交通計画，中心市街地活性化，社会的排除の緩和など，交通計画分野においても，交通計画がまちづくりにどのように貢献するか，市民や企業を巻き込んで議論するべき課題が数多く存在しています．

目先の問題への対応に追われがちな交通計画の現状に対して，生活の質の改善や街の活性化など，「まちづくりの目標に貢献する交通計画」への転換が必要です．

「交通まちづくり」は，この転換を促進する新しいアプローチです．本書は，その普及を目指し，交通まちづくりの基本を理解するための入門書として，また，「交通まちづくり」の悩みに応える事例集として，活用されることを想定して編集しました．

地方分権社会における都市間競争を勝ち抜くために，まちづくりのビジョンとそれを支える交通システムの構築は，避けて通ることの出来ない重要課題です．「交通まちづくり」を通して，それぞれの町にふさわしい交通システムが構築され，都心部の衰退，社会的排除の緩和，ローカルガバナンスの構築とい

ったまちづくりの重要課題に対して，交通計画が具体的に貢献できることが示されると期待しています．

本書は六章構成です．第一章は，「交通まちづくり」とは何か，従来とは異なる特徴は何か，そして，何が期待されるのかを解説しています．第二章は，まちづくりと絡めて交通問題を整理し，市民と行政の協働と交通まちづくりの理論的手法の必要性を説明しています．第三章は，交通まちづくりの始め方について，情報ギャップの解消に焦点をあてて解説しています．第四章は，交通まちづくりを測るために，実践的に役立つ手法を解説しています．第五章は，交通まちづくりのモデル都市として，七都市を紹介しています．交通まちづくりを成功に導くさまざまなヒントが示されています．第六章は，事業者，市民団体，学生など，交通まちづくりを担う主役たちへの期待を述べるとともに，彼らの活躍の様子を紹介しています．次の主役を目指してみませんか．

「交通まちづくり」は，交通計画の新しい潮流です．交通問題の解決に貢献したいと考えている皆さんの一人でも多くの方々にお読みいただけることを希望します．

最後に，本書は「交通まちづくり研究会（交通工学研究会自主研究）」の成果です．自主研究会の委員，事務局の藤枝久子氏，モデル都市の「交通まちづくり」担当の方々をはじめ，三年間の研究活動では多くの方々に支えていただいた．また出版に際しては，編集担当の幹事役をしていただいた平石浩之委員，事務局の石丸千夏氏には大変にお世話になった．ここに記して感謝の意を表したい．

平成18年７月

交通まちづくり研究会・主査

原田　昇

目次

第1章 交通まちづくりの基礎知識 …… 1

1.1. 交通まちづくりとは …… 2
1.2. 交通まちづくりの特徴 …… 3
1.2.1. 目標のとり方 …… 3
1.2.2. プレイヤー …… 4
1.2.3. プロセス …… 6
1.3. 交通まちづくりへの期待 …… 6
1.3.1. ビジョン構築と交通戦略に関する「同意」 …… 7
1.3.2. 計画制度の変革 …… 7

第2章 成功する交通まちづくり …… 11

2.1. 交通まちづくりの問題整理 …… 12
2.2. 交通まちづくりのポイント …… 14
2.3. プレイヤーの見直しと協同作業としての交通まちづくり …… 16
2.4. 求められる交通まちづくりの理論的手法 …… 17

第3章 交通まちづくりのはじめ方 …… 19
～情報ギャップの解消から始めよう～

3.1. まちのルールを変える ……20
3.2. 情報ギャップを埋める10のポイント ……25
ポイント1 プロセス設計が大切 ……25
ポイント2 調査・活動の予算確保をしっかりと ……26
ポイント3 交通問題をきっちり分析，みんなで共有 ……27
ポイント4 多様な視点で，影響，効果を示すことが市民や関係者の納得につながる ……28
ポイント5 代替案の比較検討が大切 ……30
ポイント6 まちが目指す将来ビジョンを明示することが重要 ……32
ポイント7 将来ビジョン作成段階から市民参加も有効 ……33
ポイント8 有機的な施策展開プログラム ……34
ポイント9 社会実験の活用 ……35
ポイント10 PDCAサイクルが大切 ……36
コラム 大規模ワークショップの実際：札幌市 ……37

CONTENTS

第4章 交通まちづくりを測る（知る）…… 45

4.1. 何故交通まちづくりを測る（知る）必要があるのか？……46
4.2. 街を測る方法……48
4.2.1. 交通まちづくりを測定する……48
4.2.2. 計測のために準備する道具……50
4.3. 街を測ると何が分かる……54
コラム 日本にはこんなにクルマを気にせず安心して歩行できる空間がある …58
4.4. 交通まちづくりへの適用事例……59

第5章 交通まちづくりのモデル都市に学ぶ … 73

5.1. 札幌市：対話型交通まちづくり
ー市民参加と交通政策の決定プロセスー……76
5.2. 金沢市：人と環境にやさしい交通まちづくり……98
5.3. 松山市：コンパクトシティの実現に向けた交通まちづくり ……110
5.4. 伊豆地域：情報提供を充実した観光交通まちづくり ……120
5.5. フライブルク：中心市街地をとことん活かす
交通まちづくり ……130
5.6. クライストチャーチ：PDCA定着でオンリーワン目指す
交通まちづくり ……146
5.7. チャタヌーガ：都市再生の奇跡と交通まちづくり ……162
コラム 持続可能な都市交通への新たな方向性 ソウル市の取り組み …172

第6章 交通まちづくりの主役達 …… 177
6.1. 事業者への期待－公共交通を活かしたまちづくり－ ……178
6.2. 市民団体の取り組み 「LRT さっぽろ」……183
6.3. 市民共同方式による醍醐コミュニティバス ……195
6.4. 社会実験を活用した国際通りのトランジットモール化への挑戦 …200
6.5. 道路文化創造社会実験 「TENJIN PICNIC」 ……204
6.6. 学生の豊かな発想で日本橋再生へ ……209